

平成 27 年度第 4 回宇都宮大学経営協議会議事要録

日 時 平成 28 年 1 月 14 日 (木) 10 時 02 分～11 時 30 分
場 所 宇都宮大学本部第一会議室
出席者 石田, 飯村, 上岡, 上岡, 観堂, 角, 浜村, 森, 築, 藤井, 茅野, 池田,
加藤, 田巻, 伊東, 石井, 杉田の各委員

議事に先立ち, 平成 27 年度第 3 回宇都宮大学経営協議会議事要録 (案) を確認し, 原案のとおり承認した。

[議 題]

1. 目的積立金にかかる次期中期目標期間への繰り越しについて **資料 1**
財務課長から, 資料 1 に基づき, 目的積立金にかかる次期中期目標期間への繰り越しについて説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。
2. 第 3 期中期目標・中期計画 (案) について **資料 2, 机上配付資料**
藤井理事から, 資料 2 及び机上配付資料に基づき, 第 3 期中期目標・中期計画 (案) について説明があり, 審議の結果, 文部科学省への提出時までには修正等が生じた際は, 役員会に一任することとし, 原案のとおり承認した。
3. 経営協議会組織員数の見直しについて **資料 3**
総務部長から, 資料 3 に基づき, 経営協議会組織員数の見直しについて提案があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。
(主な意見等)
・見直しには賛成である。ただし, 現在より委員の数が減るので, 選考にあたっては各方面からバランス良く人選していただきたい。
4. 国立大学法人宇都宮大学役員給与規程の改正について **資料 4**
総務課長から, 資料 4 に基づき, 国立大学法人宇都宮大学役員給与規程の改正について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。
(主な意見等)
・日額制から月額制に移行する必要があるのか。
(本学: 国立大学法人評価委員会から, 監事機能強化のひとつの方策として, 月給制への移行が求められているところである。)
5. 国立大学法人宇都宮大学職員給与規程の改正について **資料 5**
総務課長から, 資料 5 に基づき, 国立大学法人宇都宮大学職員給与規程の改正について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。

[報告事項]

1. 平成 28 年度宇都宮大学予算予定額の概要について **資料 6**
学長及び財務課長から, 資料 6 に基づき, 平成 28 年度宇都宮大学予算予定額の概要について報告があった。

2. 2015年度「全国大学の地域貢献度ランキング」の調査結果について 資料7

藤井理事から、資料7に基づき、2015年度「全国大学の地域貢献度ランキング」の調査結果について報告があった。

(主な意見等)

- ・地域貢献している本学の姿を県民が実感できるよう情報発信をしていただきたい。
- ・さらに地域貢献度を上げるには、産業振興に対する意識の向上が必要である。県への働きかけも重要である。

(本学：昨年12月から県内全市町の首長を訪問し、大学の取組を紹介するとともに意見を伺ってきた。今後も県民に実感していただけるような地域貢献を行っていききたい。)

- ・卒業生の地元就職に関し、地元企業としては、採用を増やすことが重要と考えているが、この点に関して大学の取組を伺いたい。

(本学：昨年にCOC+（輝くとちぎをリードする人材育成地元定着推進事業）が採択され、栃木県と協定を結び、「フードバレーとちぎ」と「ものづくり県とちぎ」を柱に農学、工学に焦点を絞った形での人材育成と地元定着推進事業を進めている。

また、地元企業の説明会を毎年開催しているが、志望が大企業偏重になる傾向があるので、引き続き地元企業と連携・協力し、情報を得ながら学生を指導していきたい。)

- ・地元企業に就職する留学生は少ないのか。

(本学：これまで卒業後は帰国を前提にしている学生が多かったが、徐々に日本で仕事をしたいという学生は増えている。ただし、就職活動に関しては日本人学生と比べ、より丁寧な指導が必要だと感じている。

また、2～3年前から県内の企業と連携し、留学生対象の企業説明会を実施しているところである。)

3. その他

参考資料

学長から、参考資料に基づき、平成27年10月から平成28年1月における本学関係記事について紹介があった。

口頭

学長から、次回の経営協議会を平成28年3月23日（水）15時から「ホテル東日本宇都宮」にて開催する旨の案内があった。

口頭

学長から、「地域デザイン科学部開設記念式典・祝賀会」を平成28年4月25日（月）に開催する予定であり、おって詳細な案内を行う旨の報告があった。

以 上